

### 西東京市議会公明党

## 公明党は二元代表制の下、 行政のチエツク機能を果たし 市民のための提案を続ける

佐藤 公男  
田代 伸之  
大田 光昭  
藤田 美智子  
小幡 勝己

公明党は市長選挙に当たり、池澤氏と基本姿勢並びに政策の協定を結び推薦した。

公明党の姿勢はこれまで同様、地方議会の基本である二元代表制の下、与野党ではなく、チエツク機能を存分に発揮し、市民のための政策を提案し続ける。

【問】 コロナ対策について、全国自治体調査を行った。いかにスムーズにワクチンを接種できるかが収束に向けての鍵となる。国の接種円滑化システムと接種記録システムの検討状況を伺う。

【答】 これまでワクチン準備担当、コールセンターを設置した。接種体制を円滑に構築するため、システム導入に向け、医療機関との調整、対応を検討する。

【問】 コロナ対策の経済支援、電子決済によるポイント還元、プレミアム応援券第2弾、エッセンシャルワーカー支援については政策協定により提案した。エッセンシャルワーカー支援は非正規雇用も対象になるのか伺う。

【答】 パート・アルバイトの方も幅広く対象とする。

【問】 学校を核とした拠点づくりを市長公約としたが、学校個別施設計画との整合性について伺う。

【答】 老朽化が進む学校の建て替えの際に地域の核とな

る機能を持たせることにより、学校を取り巻く地域がもつと良くなると考える。

【意見】 建て替えが終わった学校をモデルケースとし、建て替えなくてもできることを進めるべきである。

【問】 この間市長にはどんな外に出てほしいと伝えてきた。市長も現場を重視すると語っている。市長の姿勢を職員にどう理解してもらい変革するのか伺う。

【答】 39年間行政職員として地域に出て見たこと、感じたことを形にする姿勢を市長になっても忘れない。職員にも地域の中で感じたことを施策・事業に反映できる環境をつくる。

【問】 現在地域防災計画の見直しを行っているが、災害に強いまちづくりを進めるため、国土強靱化地域計画の策定も位置づけられている。本市の策定のめどと計画の位置づけを伺う。

【答】 災害に強く、早期に復興できるように災害前から都



令和3年に新校舎へ移転するひばりが丘中学校

市インフラ整備のための国土強靱化地域計画を策定する。市総合計画と両輪をなす位置づけである。

【問】 第3次総合計画の取組方法と新たな市民参加の方法を伺う。

【答】 健康都市プログラムのさらなる推進やSDGs、行政のデジタル化など、社会変化に対応した取組が必要。子どもを中心に、様々な世代に向けた取組を包含する。これまでの市民参加手続から、職員が自ら地域に入り、その関わりの中で意見を把握、計画に反映していきたい。

【問】 庁舎統合は一旦立ち止まるとのこと。方針変更の理由を伺う。

【答】 人口動向やICTの進展、基礎自治体への権限移譲を考慮しなければならぬ。一方、市民ロビー等の共有スペースを市民の憩いの場として活用するなど、規模や機能面での再検討が必要であることから、統合時期を延伸したい。

【問】 駅周辺のバリアフリー化の推進、安全な歩行者空間の整備状況を伺う。

【答】 歩行者や自転車が集中する場所を念頭に置き、歩行者の安全確保対策を検討する。

【問】 「福祉丸ごと相談窓口」を保谷庁舎にも設置すべきだが検討状況を伺う。

【答】 重層的支援体制整備事業の実施に取り組み中で整理、検討する。

【問】 保健師を活用し、自身や家族の健康、栄養等を身近なところで気軽に相談支援が受けられる仕組みの検討状況を伺う。

【答】 市内関係団体等と連携して保健師等専門職を活用した気軽に相談支援が受けられる仕組みを検討する。

【問】 子どもの居場所と学習支援の見解を伺う。

【答】 子どもの居場所と学習支援の取組方針を取りまとめ、子どもの居場所での学習支援の充実や学習支援機能の導入、子どもの居場所の創出に努めることを掲げた。新たな事業主体との協働・連携も含め、充実に向けて取り組んでいく。

【問】 健康応援都市の実現に向け、生涯学習は大変重要だが見解を伺う。

【答】 教育委員会と連携して生涯学習の推進に努める。



福祉丸ごと相談窓口

【問】 児童虐待の相談件数は、昨年、一昨年を上回っており、子どもの泣き声の通報や、夫婦間の暴力から警察通報に至る心理的虐待が増えている。早期の支援を目指し丁寧な対応に取り組む。コロナ禍の学校現場で子ども条例に基づいて、子どもの権利を守り、子どもの意見を聞く取組は行われたのか伺う。

【答】 学校行事をはじめ様々な教育活動が例年と異なる取組となった。変更に応じたのは、児童生徒の考えや希望を丁寧に聞き取るなど、子どもたちの意見表明の機会を設けてきた。

【問】 市長公約にランドデザインを市民とともに策定し、視覚的に表すと訴えたが、その意味を伺う。

【答】 グランドデザインは、総合計画と都市計画マスタープランの中間に位置するという認識である。改定に合わせて、視覚的に見てもまちのイメージが分かるものをつくり上げていく。

【問】 国は、孤独・孤立対策担当室を立ち上げた。市としての対策を伺う。

【答】 コロナ禍で社会不安が高まり、孤独・孤立問題が深刻化している。昨年、児童生徒の自殺が過去最多になった。子どもの貧困問題をはじめ、問題を洗い出し具体的な対応をしていく。本市も令和元年度に、生きる支援推進計画を策定した。関係機関と連携し市民に寄り添う声かけ、相談体制構築を進める。

【問】 低炭素社会から脱炭素社会へ、ゼロカーボンシティ宣言を行う目指すべき姿

### 議会トピックス ②

#### 請願・陳情の提出方法

市議会に要望（請願や陳情）を出すにはどうしたらいいの？

請願・陳情とは、市政に対する要望等を文書で市議会に提出する制度です。請願は、市議会議員1人以上の紹介が必要です。提出された請願は、所管の委員会に付託し審査され、最終的に本会議で採択・不採択が決まります。採択された請願は市長等に送付します。議員の紹介がないものは陳情となり、議会運営委員会での話し合いの上、承認されたものは請願と同じように取り扱われます。請願・陳情はいつでも受け付けますが、直近の定例会で審査を求めるとするには、各定例会初日の各定例会の初日前までにご提出ください。また、定例会の最終日の2日前までに提出されたものは、最終日に上程され、閉会中に審査が行われることとなります。なお、土・日、祝日の関係で、締切日が変わる場合もありますので、議会事務局にご確認ください。

\*ゼロカーボンシティ宣言 2050年に温室効果ガスの排出量または二酸化炭素を実質ゼロにすることを旨とする宣言を首長または地方自治体として公表すること  
\*子ども条例 子どもの権利条約等を踏まえて、西東京市の子どもへの今と未来を守るためにつくられた条例

### 議会 NEWS ①

#### 採択された請願・陳情への市の対応

市議会が採択された請願・陳情は、市長や教育長に送付され、その後の検討経過を市議会に報告することとなっています。ここでは令和2年に採択された陳情について、市からの報告をお知らせします。

件名	西東京市における公民館及び図書館の男女トイレに関する陳情
採択年月	令和2年6月23日
陳情事項	ひばりが丘公民館及び図書館のトイレの洋式化を求めるもの。
検討結果	公民館及び図書館のトイレの洋式化については、陳情の主旨を踏まえ、計画的に実施してまいります。
理由	ひばりが丘公民館のトイレについては、利用者懇談会においても毎年洋式化の要望が出されていることから、財政状況等を踏まえ、他の改修工事も含めて計画的に実施してまいります。